



白鳳点描

卒業生が叶えた夢

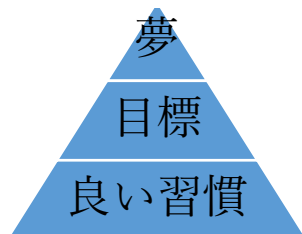
校長 水野 夏子

11月21日(金)は、忘れられない1日となりました。2009年3月に白鳳小学校を卒業後、西中学校、旭野高校、早稲田大学を経て、2019年にクボタスピアーズに入団し、ラグビー選手として活躍された松井丈典さんをお招きしました。5、6年生の子どもたちとタグラグビーで触れ合ったり、「夢 ーなりたい姿になるためにー」と題して、全校児童に講演をしていただいたりしました。

小学校の頃からピジョンで野球を始めた松井さんは、子どもの頃の夢は「ケーキ屋さん」だったそうです。中学校の頃は野球選手を夢見ていました。初めてラグビーの試合を見たときに「カッコいい」「強い大人になりたい」と思ったそうです。高校では、高身長で体格の良さから、ラグビー部の熱烈的な勧誘があり、そのまま入部することになりました。

講演では「毎日、夢に水をあげよう」という言葉が印象的でした。夢(こうなれたらいいな)を叶えるために松井さんがしてきたことを2つの図表で示していただきました。松井さんの目標は「ラグビーが上手になること」と「スカウトされること」でした。そのために行ってきたことが、下表のようなことでした(筆者による加工あり)。

【夢のピラミッド】



目標	ラグビーが上手になる	スカウトされる
そのために	丈夫な体が必要 ↓ 毎日元気である ↓	勉強して早稲田大学へ行く ↓ 英語の点数を上げたい ↓
習慣	よく寝る(10時までに)	1問でもいいから毎日問題を解く

松井さんは、「10時までに寝る」「1問でもいいから毎日問題を解く」といったことを習慣にし、夢を現実のものにしていきました。良い習慣を積み重ねていくことが、すなわち「夢に水をあげること」でした。だから小さなことから始めようと、子どもたちに語ってくださいました。

最後に、「夢は変わってもいい。今はなくてもいい。好きなこと、楽しくてたまらないことを大切に。いつか夢が見つかったら、水やりを忘れずに」として講演を締めくくりました。

白鳳小学校の卒業生が自分の夢を叶えたこと、夢を叶えるためにしてきたことは、子どもたちにとって生きたキャリア教育となりました。今春に現役を引退され、今は人生の第2ステージとして引き続きクボタで楽しくお仕事をされているようです。

